

「伝統的な言語文化・古典の世界」

単元のねらい

古典の文章を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、昔の人のものの見方や感じ方について知ることができる。

いつ学習するの？

単元の指導計画

- ・古典の文章を音読する
- ・内容の大体を知り、昔の人のものの見方について自分の考えを交流する
- ・**現代と同じ意味で使われている言葉や、違う意味で使われている言葉について考える**

古典に出てくる言葉の中で、現在と使われ方が違うものや、日常で使用している言葉の中にも時代によって変化しているものがあることを知り、言葉を用いたコミュニケーションのあり方について考える。

どんな活動をするの？

🕒 実施時間：約15分

- ワークシートを配付し、「竹取物語」を読む。その中で、昔と今で意味が違う言葉と、意味の違いに気づかせる。



言葉の意味は、時代によって変化することがあるんだね。

- 日常的に使用する言葉(「うける」)を使った2つの文を別の言葉で書きかえて、周りの人と話し合い、発表させる。
- 「うける」の意味が元の「人気がある」だけでなく、ほかの意味でも使われるようになったことから、**現代でも言葉の意味が変化し続けている**ことに気づかせる。

「このギャグ、うけるね。」は、「このギャグ、おもしろいね。」に言いかえました。



「新しい映画は若者にうけた。」は、「新しい映画は若者に人気になった。」という意味だと思います。

言葉は時代とともに変化していくからこそ、その使い方や意味を大切に、気をつけて使っていきたいですね。



★同じ言葉は、いつでも同じ意味で使われるの？

② 新しい映画は若者にうけた。	① このギャグうけるね。
-----------------	--------------

どこのどの言葉に注目して、どのように言いかえたか、まわりの人と話し合ってみよう。

★「うける」という言葉を使った、次の①②の文を、ほかの言葉で言いかえてみましょう。

「竹取物語」に出てくる言葉には、今と違って、使われ方や意味の変わりがあつたものがあります。例えば、「うける」という言葉の使い方は、今と違ってどのように変化したか、調べてみましょう。

「竹取物語」に出てくる言葉には、今と違って、使われ方や意味の変わりがあつたものがあります。例えば、「うける」という言葉の使い方は、今と違ってどのように変化したか、調べてみましょう。

「竹取物語」に出てくる言葉には、今と違って、使われ方や意味の変わりがあつたものがあります。例えば、「うける」という言葉の使い方は、今と違ってどのように変化したか、調べてみましょう。

スマイル・プラネット

*ワークシートや指導案をWebからダウンロードすることができます。

キャリア教育の

子どもたちに気づかせたい宝

- 言葉の意味や使い方は、時代とともに変化している。
- 同じ言葉でも、時代や人によって捉え方に違いがある。
- 言葉を使ったコミュニケーションでは、相手が言葉をどんな意味で使っているかを考える必要がある。

もっと知りたい! 職業のこと

— 国語辞書編集者 —
株式会社三省堂
荻野 真友子さん



国語辞書は、世の中の言葉の世界をミニチュアにしたようなものです。そのため、人々の生活の様子をよく観察し、新しい言葉を取り入れるなどして今の世の中を反映させようとしています。言葉の感覚をみがくには、まずたくさん言葉を知ることです。そのために、辞書も役立ちますが、自分の世界を広げることも大切です。

▶ 続きはWebで。

ここで使用するワークシートは、Webに掲載しています。

スマイル・プラネット

検索